

## 持経宿・平治宿の巡回整備

◇実施日 平成27年03月15日(日) 曇り後小雨

◇参加者 沖崎吉信、児嶋道夫、川島 功、畑林清子、

青木宏充、梶野照雄、椎木 堯・照子夫妻 計8名

・広島市在住の椎木さんより薪を持参し、ご夫婦で参加の申出があった。

・児嶋さんより薪割機、再持参でリベンジする。

・宿泊利用料4月1日より2,000円以上/泊とする案内標示の掲示。

・大型連休前に池郷林道の状況を把握すると共に落石等撤去。

3月1日に実施予定であったが雨で15日に順延していたが、この日も雨の予報で悩んで前日に実施する打診をしたが、椎木さんが薪を運搬して下さることから予定通りとする。どうい訳か(晴れ夫婦?)、やや好天に向い雨が昼過ぎまで降らない予報になった事から実施を決めた、

当日、池原スポーツ公園で合流。椎木さんは、昨日小瀧螺雲師主宰の犬鳴山の「修行」に参加されたとのこと、

集合8時30分近くになるが、行仙宿前泊の青木氏がやってこない。

児嶋・椎木車には、林道の落石等撤去のため先行してもらおう。沖崎車がしばらく待機するも、彼のことだ持経宿へ変更し、我々を待っているだろうと2台の後を追う。

池郷林道大荒れを予想してジョレン、ポール、箒、チェーンソー。ハンマーなど大量に持込んだが、荒れ具合は予想よりはるかに少ないものだった。

ただゲートと稜線三叉路の中間地点で、林道下が大きく抉れて雪庇状態となっている。大型連休と持経宿の改築を控え非常に危惧される。

翌日、奈良森林管理事務所下北山村駐在の田中氏に状況報告の電話を入れた。田中氏は判っていた様で、新年度に修理工事をやるが時期未定。従って、工事が開始されれば当分持経宿への車の乗入れは出来ない。白谷側の林道は、落石も多いだろうが通行可能なはずだとのことであった。

落石を除けながら、やっと持経宿に到着し青木氏が出迎え。椎木さんの車には、30cm位に束ねた薪が30束も積まれていた。相当な重量負担であったろう。ありがたく頂き、皆でトイレ前に運搬・保管させていただいた。

児嶋・椎木さんには、持経宿に残り、薪造りをお願いする。椎木さんの奥さん照子さん、沖崎、川島、青木、梶野、畑林の6名が平治宿へ向う。梶野氏は、食台板に自製加工したアルミ脚を取付のため、少し遅れて来ることになる。

小屋を出て平治宿に向かう林道途中から、小雨が降り出したがたいしたことがない。



椎木車から薪運搬



千年檜祠前



平治宿・脚取付食台で昼食

この天気具合がかえって平治宿へ向う奥駆道の尾根に靄がかかり、幻想的な雰囲気を醸し出していた。

それぞれが、小屋手前から薪用の落枝を拾い平治宿小屋へ。昨秋、塗替えたトタン屋根の色は、冬枯れの景色にマッチしていた。早速、川島・青木両氏は、トイレ水洗用のドラム缶を設置、梶野氏は食台板1枚にアルミ脚を取付し、その後薪造り。

沖崎は水場点検。女性軍は小屋内の整理・清掃を行い、12時頃より昼食とした。

改めて小屋内に座り、物品棚・ストーブ・靴置場・毛布常備・本日の食台を見て、使い勝手が本当に良くなったと実感した。

12時50分持経宿へと下山する。  
さてさて、薪割機は上手く作動したか気になる。

小屋前を見るとブルーシートが玄関前に張られ、その下に薪がうず高く積まれている。

ドリッブコーヒーの準備をしている児嶋さんに聞くと、作動せず椎木さんと斧と鉄楔で割ったものとのこと。どうも電源の容量不足なのか繋がらず、試運転が上々だったと、やや落込み状態、三度目の正直に期待したい。



平治宿・下山前

持経宿下山前・参加者記念撮影

児嶋さんのコーヒー、畑林さん差入れの赤福餅で小休止後、持経宿内に4月1日より宿泊料金2,000円以上/泊の掲示。割った薪を不動堂横に積上げなどの作業を行い帰路についた。

椎木さんには、薪の持込の外に杵搗餅、古代米をたくさん差入れて頂き、参加者がありがたく頂戴した。椎木さんに重ねて心より御礼を申し上げます。

### 行動タイム

新宮7:00→8:15 池原公園 8:30→9:00 池郷林道ゲート→9:35 持経宿 10:10→11:05 平治宿 12:50→13:35 持経宿 14:25→15:35 池原公園 15:40→17:00 新宮。

### 寄贈品

・椎木 堯：薪30束(持経宿)  
・梶野照雄：食台板にアルミ加工脚(持経宿3卓、平治宿1卓)

(記 沖崎)